

新聞記事 やさしい言葉に

伊川谷高で公開授業 生徒ら工夫点紹介

教育に新聞を

NIE

NIE（教育に新聞を）

活動の一環として、新聞記事を「やさしい日本語」に書き換える取り組みを進めている伊川谷高校（西区）の公開授業が10日、同校であった。県内の学校教諭を中心に、オンラインも含めて33人が参加した。

県NIE推進協議会が企画。同校では2学期から、自身が興味をもった新聞記事をまとめ直す授業を継続実施しており、総まとめの

回を公開した。

この日は1年生29人が5班に分かれて各自の記事を紹介し、工夫した点などを説明。代表者が発表したテーマは、ヤングケアラーや中国のゼロコロナ政策、戦争と原爆などさまざま。「漢字にふりがなを付けた」「イラストを添えた」などの工夫点も述べた。

瀬戸口淳宏さん（16）は「新聞記事は難しかったが、自分で調べたり班の仲間と話したりして気付くことも多かった。きょうの発表も含めて良い経験になった」と振り返った。

愛徳学園中学・高校の米田俊彦教諭は「難しい記事内容を本当に理解していなければ自分なりのアウトプットはできない。NIEの取り組みの中でも斬新な切り口だと感じた」と感心していた。

（安福直剛）



やさしい言葉でまとめ直した記事を紹介し合う生徒たち＝伊川谷高校